

* 回収数 47

1 研修会への意見・感想

- ・理論・実践・事例報告とわかりやすかった。参考になった。
- ・自分で体験でき、実践のイメージができた。
- ・主体性が必要ということがよくわかった。
- ・一人ひとりの利用時間を検討していきたい。
- ・事業所で有効に活用したい。
- ・研修会の内容を持ち帰り現場で生かしたい。
- ・新しい視点や開発など可能性を感じ興味深かった。
- ・スヌーズレンの良さを伝えたい。
- ・実技指導で、対象者への関わり方を知ることができた。
- ・三項関係の考え方がわかった。改めて考えさせられた。
- ・他施設の方と情報共有ができ、取り入れたい内容もあり参考になった。
- ・東洋大を利用させて頂きよかった。
- ・嶺先生の実践も素晴らしい。
- ・有用性や効果が分かった。
- ・予算がない場合の対応、集団実践においてどのように個別性を尊重するのかなどの回答が聞けたので、実践につなげたい。
- ・自分の実践を話すことができ、他の学校の実践を知ることもできた。悩みも共感できた。アイデアを得ることができた。
- ・たくさんの勇気をいただきました。
- ・グッズを実際に見てさわることができた。
- ・評価をきちんとする、成果を目に見える形にするように、努力したい。
- ・本格的に始めるので、貴重な情報交換になった。
- ・基礎的な知識を学べたので、実践を理論的に整理できるような気がする。
- ・道具はあるが、活用できていない。この機会に実践内容を考えていきたい。
- ・日々の活用に対して、悩みや疑問が少し解消できた。
- ・年齢や障害の違い等で、対応していくうえでのヒントが得られた。
- ・教育的に取り組める内容でよかった。
- ・映像や動画などがあり、分かりやすかった。
- ・工夫して「無い物をつくる」という考えがすごい。
- ・他職種の方との情報交換ができてよかった。
- ・都内に近い参加しやすい会場でよかった。
- ・実践の見直しをすぐに行いたい。

- ・ かかわり手に対するサポートのヒントがたくさんあった
- ・ 実際に導入している施設の詳しい情報があるとよい（タイプ別・統計 9
- ・ 消防車・汽車のバブルチューブは可動式ですばらしい。
- ・ 展示会があり大変参考になった。
- ・ 「五感を通して外界を認知して理解を深めること」、が印象的。
- ・ 心地良い時間を提供できるように支援していきたい
- ・ 一人ひとりにあわせた活動を提供したい。
- ・ リラクゼーションを目的としたスヌーズレンでも、知識や体験（経験）が非常に大事だと思っている。
- ・ 職場での内容の充実や知識の取得の必要性を感じた。
- ・ 個々の利用者が必要である場面で使える様にできたら良い。
- ・ あるものを工夫するなど、子どもたちへの実践のイメージが沸いた。
- ・ 実践しながら広めていきたい。
- ・ 施設の一事業として全体で取り組む必要がある。
- ・ 知識の整理と実践に向けてのイメージができた。
- ・ 歴史等の基本的な話を聞いてよかった。
- ・ 低予算・スペースがない等、共通の悩みがあった。

2 今後の研修会での要望

- ・ 実践例の発表
- ・ 利用者の変化がわかるもの
- ・ 他の教職員にも伝える情報
- ・ 九州地区での開催
- ・ ASD・ADHDなど発達障害のこどもへの活用・コーディネート方法
- ・ 東海地区（愛知・三重）での開催
- ・ 最新の研究報告や更新された理論等について
- ・ 症例の経過について
- ・ 実際に行っている場面
- ・ 現地視察を含めた研修会
- ・ 健常者・通常学級・大人に対するスヌーズレンの効果
- ・ 教職員のスヌーズレン利用に対する効果
- ・ グッズの工夫・試作
- ・ 支援者としてのスキルアップ
- ・ 多くの施設の事例発表
- ・ 1日でなく、もう少し勉強したい
- ・ 資格やその後のフォロー研修

- ・記録や効果等の統計データ
- ・参加しやすい場所での開催
- ・開催日を増やして、選択して、多くの方が参加できるように
- ・同じ立場でのディスカッション
- ・地域に広げる活動
- ・スヌーズレンの流れを体験したい
- ・重心の児童生徒に授業として取り組む場合の「ねらい」と支援方法を具体的に
- ・余裕もって、ゆっくり学びたい
- ・いろいろな機材をもっと展示してほしい
- ・セラピーとしてのスヌーズレンの活用方法
- ・感覚統合とスヌーズレンとの関係性や有用性
- ・実践事例を、写真や動画等で多く学びたい、知りたい
- ・リハビリテーションに関わる中で、どのように評価・分析をしていくのか。
- ・有効性についての報告
- ・アセスメントの仕方
- ・手作り物品の紹介
- ・実践を重ねていけるような評価や記録の方法
- ・土曜日の開催
- ・学習効果や情緒状態を具体的に聞きたい

3 資格取得について

資格を取得してみたいか

資格を取得してみたい	36/47
そうでもない	5/47
不明（無回答）	6/47

*期間や内容が不明のため、答えられない

日程、期間等について

- ・夏休み・冬休みの期間
- ・週末の土曜日・日曜日の連日開催
- ・連日よりも、年度内に何日か
- ・講義と演習で5日程度
- ・平日の出席は無理
- ・2～3日程度で通い
- ・1週間は無理

- ・遠方での開催は出席できない
- ・駅に近い場所
- ・関東で九州で
- ・基本と専門、スーパーバイズや研究指導も
- ・具体的な評価ができる内容
- ・施設見学もできる内容
- ・通信（レポート）でも可能な部分があると
- ・公費での出席は無理なので、私費で可能な設定に